

## 「第 2 期いきいき市民健康プラン後期計画」

### 最終評価に係る各種関連調査について

1. 各種調査の結果（速報値）について . . . . P. 1
2. 各種調査の内容 . . . . P. 3
3. 指標毎の速報値（Ⅰ～Ⅱ） . . . . P. 5



## 「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」に係る 各種調査の結果(速報値)について

### 1 概要

本市の「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」は、計画期間が令和5年度までであり、今年度は最終評価を行うこととしている。

最終評価に向け、計画における健康指標、行動指標の達成状況を把握することを目的に、昨年度、市民、事業所、児童・生徒を対象に、健康意識・健康行動等に関する各種調査を実施し、今般、その結果(速報値)がまとまった。

今後、調査結果の分析を進め、各計画の達成状況についての最終評価を行う。

### 2 調査方法

令和3年9月から令和4年2月にかけて、市民、事業所、児童・生徒を対象に、「仙台市民の健康意識等に関する調査」、「事業所・公共の場における健康意識調査」をはじめとする各種調査を行った。

### 3 調査結果(速報値)

#### (1) 計画各指標の状況等

上記の各種調査結果、並びに国その他の各種統計データから把握した、「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」に掲げる各指標の速報値について、平成28年度に行った調査結果との比較を行った。

また、長期化する新型コロナウイルス感染症による影響を把握するため、「仙台市民の健康意識等に関する調査」において、感染拡大前と調査時点(令和3年9月)直近1か月以内の生活状況の変化についての質問項目を設けた。

#### ① 第2期いきいき市民健康プラン後期計画

- ・重点分野1 生活習慣病予防 指標数:52 [改善:11、悪化:29、変化なし:5、集計中等:7]
- ・重点分野2 心の健康づくり 指標数:6 [改善:2、悪化:3、変化なし:0、集計中等:1]
- ・重点分野3 食生活 指標数:22 [改善:7、悪化:7、変化なし:0、集計中等:8]
- ・重点分野4 歯と口の健康づくり 指標数:20 [改善:14、悪化:4、変化なし:2、集計中等:0]
- ・重点分野5 たばこ対策 指標数:21 [改善:9、悪化:9、変化なし:1、集計中等:2]
- ・重点分野6 感染症予防 指標数:4 [改善:3、悪化:1、変化なし:0、集計中等:0]

#### ② 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・1週間の運動日数が「減った」と回答した方が全体の30.9%。
- ・テレビやパソコンなど、メディアの利用時間が「増えた」と回答した方が全体の42.9%。
- ・ストレスが「増えた」と回答した方が全体の44.4%。

## (2) 現時点での考察

- ・「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」の各重点分野中、特に「重点分野1 生活習慣病予防」については、指標中半数以上が「悪化」となっている。理由の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響調査において、間食の増加や運動量の減少、健康診断受診の中断などの結果が出ており、感染拡大の長期化による影響が生じている可能性がある。
- ・一方、「重点分野4 歯と口の健康づくり」では、子供に関する指標の多くが改善している。理由として、この間、保育所や幼稚園でのフッ化物洗口導入支援事業や、3歳児カリエスフリー85プロジェクト等の取り組みを進めてきたことが考えられるが、子供のむし歯の有病状況は全国と比較しても高い状況にあるため、さらに取り組みを進めていく必要がある。

## 4 今後の予定

- ・各指標の数値を確定した上で、このあと国において示される「健康日本21（第二次）最終評価報告書」なども踏まえながら、各計画の達成状況についての最終評価を行う。
- ・最終評価にあたっては、各種調査結果のクロス集計など、各指標に関する分析とともに、これまでの取り組みにおける各事業の実施状況や推進体制についての評価を行い、また、有識者からの助言を受けるなどしながら、課題を明確化する。
- ・最終評価の結果については、令和5年度に策定予定の次期「いきいき市民健康プラン」の検討に反映させていく。

## 各種調査の内容

**1 仙台市民の健康意識等に関する調査**

- ・調査対象：20歳以上の男女6,000人(無作為抽出)／有効回答数：2,752人(回答率45.9%)
- ・調査期間：令和3年9月3日から9月30日まで
- ・調査項目：「健康意識・健康管理」「栄養・食生活」「食育」「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「たばこ」「アルコール」「歯と口の健康」「社会参加、地域とのつながり」「新型コロナウイルス感染症の影響」

**2 事業所・公共の場における健康意識調査**

- ・調査対象：【事業所】市内事業所3,000か所／有効回答数：1,255か所(回答率41.8%)  
【公共の場】医療機関・金融機関・飲食店等3,000か所／有効回答数：1,655か所(回答率55.2%)
- ・調査期間：令和3年10月1日から10月29日まで
- ・調査項目：「受動喫煙防止の取り組み」「従業員の健康づくりの取り組み」

**3 歯科保健に係る各種調査****(1) 8020 達成率調査**

- ・調査対象：75～84歳の男女2,000人(無作為抽出)／有効回答数：511人(回答率25.6%)
- ・調査期間：令和3年10月1日から11月30日まで
- ・調査項目：「問診(主観的健康状態、食生活及び喫煙等)」「口腔診査」

**(2) 学校歯科保健関連調査**

- ・調査期間：①②③のいずれも令和3年10月14日から11月11日まで

**①学校歯科保健アンケート**

- ・調査対象：市立小学校118校／有効回答数118校(回答率100.0%)  
市立中学校64校／有効回答数63校(回答率98.4%)
- ・調査項目：「歯科保健活動の状況」「学校歯科医からの指導の有無」等

**②保護者アンケート**

- ・調査対象：小学3年生の保護者882人／有効回答数：821人(回答率93.1%)
- ・調査項目：「児の間食の摂取状況、歯みがきの実施、歯みがき剤・補助的清掃用具の使用、歯みがき後の点検の状況」等

**③生徒本人アンケート**

- ・調査対象：中学1年生855人／有効回答数：739人(回答率86.4%)  
高校3年生784人／有効回答数：732人(回答率93.4%)
- ・調査項目：「間食の摂取状況」「歯みがき剤・補助的清掃用具の使用状況と使用法の指導」等

**(3) 保育所・幼稚園等歯科保健活動調査**

- ・調査対象：市内保育所、幼稚園、認定こども園 計303施設／有効回答数：293施設(回答率96.7%)
- ・調査期間：令和3年10月20日から11月19日まで
- ・調査項目：「歯科保健活動の状況」「嘱託歯科医(園歯科医)の取り組みと連携」等

#### (4) 幼児健康診査における歯科保健行動聞き取り調査

- ・受診者数：1歳6か月児健康診査受診者1,152人、3歳児健康診査受診者1,292人
- ・調査期間：令和3年11月から12月まで
- ・調査項目：「せんだい☆でんたるノートの保有率」「かかりつけ歯科医がいる児」等

#### 4 思春期の健康づくり意識調査

- ・調査対象：中学1年生1,057人／有効回答数：358人（回答率33.9%）  
中学3年生1,042人／有効回答数：314人（回答率30.1%）  
高校3年生 909人／有効回答数：256人（回答率28.2%）
- ・調査期間：令和3年11月22日から12月24日まで
- ・調査項目：「健康意識・健康管理」「たばこ」「アルコール」「新型コロナウイルス感染症の影響」

#### 5 市政モニター調査

- ・調査対象：市政モニター200人／有効回答数：189人（回答率94.5%）
- ・調査期間：令和4年2月7日から2月21日まで
- ・調査項目：「食生活について」

## I 第2期いきいき市民健康プラン後期計画 指標毎の速報値

中間値(H28)・・・「第2期いきいき市民健康プラン前期計画」の中間評価を行うにあたり、平成28年度に実施した各種調査及び統計データから把握した値。  
 市目標値(R4)・・・「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」において設定した目標値。  
 改善状況・・・速報値を中間値と比較し、0.5ポイント以上の改善又は市目標値達成を「↗」、0.5ポイント以上の悪化を「↘」、0.5ポイント未満の変化を「→」、集計中等を「―」と示している。

No	項目	中間値 (H28)	速報値 (R3)	改善 状況	市目標値 (R4)	
◆基本目標						
1	健康寿命の延伸(65歳)	男性	18.60年	集計中	―	延伸
		女性	21.38年	集計中	―	
2	健康であると自覚している人の増加	75.6%	<b>74.2%</b>	↘	85%	
◆重点分野1 生活習慣病予防 [改善状況 ↗:11 ↘:29 →:5 ―:7]						
3	メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少	該当者	19.5%	<b>23.7%</b> (R2)	↘	減少
		予備群	10.4%	<b>10.9%</b> (R2)	↘	
4	壮年期のがんによる死亡の減少(人口10万人当たり)	116.5人	集計中	―	減少	
5	壮年期の健診による血糖検査要医療判定者の減少	6.0%	<b>6.5%</b>	↘	減少	
6	糖尿病による治療が必要な人の減少	男性	6.8%	― ※1	―	減少
		女性	4.4%	― ※1	―	
7	虚血性心疾患による死亡の減少(人口10万人当たり)	男性	20.8人	集計中	―	減少
		女性	8.1人	集計中	―	
8	脳血管疾患による死亡の減少(人口10万人当たり)	男性	39.2人	集計中	―	減少
		女性	23.2人	集計中	―	
9	適正体重の範囲にある人の増加	20歳代女性のやせの者の減少	16.2%	<b>9.4%</b>	↗	15%
		20～60歳代男性の肥満者の減少	30.7%	<b>28.5%</b>	↗	15%
		40～60歳代女性の肥満者の減少	14.9%	<b>19.1%</b>	↘	13%
10	肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学5年生男子	5.4%	<b>7.2%</b>	↘	減少
		小学5年生女子	3.7%	<b>3.7%</b>	→	
11	定期的に健康診断を受けている人の増加	79.5%	<b>79.6%</b>	→	95%	
12	定期的ながん検診を受けている人の増加	胃がん(40歳以上)	41.0%	<b>37.0%</b>	↘	70%
		肺がん(40歳以上)	30.0%	<b>27.0%</b>	↘	
		大腸がん(40歳以上)	35.0%	<b>31.7%</b>	↘	50%
		乳がん(40歳以上)	53.7%	<b>51.1%</b>	↘	70%
		子宮がん(20歳以上)	47.0%	<b>43.2%</b>	↘	75%

No	項目	中間値 (H28)	速報値 (R3)	改善 状況	市目標値 (R4)	
13	健康診断の結果、必要な指導等を受けた人の増加	87.6%	<b>87.3%</b>	→	100%	
14	特定健康診査を受ける人の増加	46.4%	<b>45.9%</b> (R2)	↘	58%	
15	特定保健指導対象者中、保健指導利用者の増加	動機付け支援	9.4%	<b>7.5%</b> (R2)	↘	50%
		積極的支援	9.6%	<b>8.0%</b> (R2)	↘	
16	メタボリックシンドロームを正しく理解している人の増加	84.4%	<b>89.4%</b>	↗	100%	
17	糖尿病合併症について正しい知識を有する人の増加	網膜症	57.1%	<b>47.5%</b>	↘	100%
		狭心症・心筋梗塞	46.9%	<b>41.3%</b>	↘	
		動脈硬化	60.5%	<b>48.8%</b>	↘	
		脳卒中	43.6%	<b>34.4%</b>	↘	
		歯周病	31.2%	<b>24.1%</b>	↘	
18	日常生活における歩数の増加	男性(20～60歳代)	5,108歩	<b>4,719歩</b>	↘	7,000歩
		女性(20～60歳代)	4,597歩	<b>4,342歩</b>	↘	
		男性(70歳以上)	4,221歩	<b>4,326歩</b>	↗	5,500歩
		女性(70歳以上)	3,548歩	<b>3,143歩</b>	↘	
19	運動習慣者の増加	男性	48.1%	<b>51.9%</b>	↗	65%
		女性	48.0%	<b>51.0%</b>	↗	
20	意識的に運動を心がけている人の増加	男性	71.3%	<b>69.5%</b>	↘	80%
		女性	75.6%	<b>73.2%</b>	↘	
21	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加	小学5年生男子	72.4%	<b>62.1%</b>	↘	増加
		小学5年生女子	56.3%	<b>44.6%</b>	↘	
22	多量に飲酒する人の減少	男性	7.6%	<b>7.1%</b>	↗	4.0%
		女性	1.2%	<b>1.2%</b>	→	0.5%
23	適正飲酒量を正しく認識している人の増加	63.1%	<b>59.8%</b>	↘	85%	
24	未成年の飲酒をなくす	中学3年生男子	2.7%	<b>0.8%</b>	↗	0%
		中学3年生女子	1.9%	<b>0.6%</b>	↗	
		高校3年生男子	5.1%	<b>4.1%</b>	↗	
		高校3年生女子	3.2%	<b>3.9%</b>	↘	
25	妊産婦の飲酒をなくす	0.1%	<b>0.5%</b>	→	0%	



No	項目		中間値 (H28)	速報値 (R3)	改善 状況	市目標値 (R4)
26	地域活動を実践している高齢者の増加(60歳以上)	男性	35.8%	<b>32.2%</b>	↘	65%
		女性	35.6%	<b>33.6%</b>	↘	
27	健康づくり自主グループの増加		192団体	<b>234団体</b>	↗	増加
<b>◆重点分野2 心の健康づくり [改善状況 ↗:2 ↘:3 →:0 -:1]</b>						
28	自殺による死亡の減少(人口10万人当たり)		16.1人	<b>17.9 (R2)</b>	↘	減少
29	ストレスを感じた人の減少		69.2%	<b>67.6%</b>	↗	60%
30	ストレス解消法を持つ人の増加		92.3%	<b>91.8%</b>	↘	100%
31	睡眠による休養を十分に取れていない人の減少		30.0%	<b>36.6%</b>	↘	18%
32	悩みごとの相談相手がいないと回答した人の減少	高校3年生男子	18.0%	<b>8.2%</b>	↗	減少
33	メンタルヘルス対策に取り組む事業所の増加		43.6%	<b>24.9% ※2</b>	—	増加
<b>◆重点分野3 食生活 [改善状況 ↗:7 ↘:7 →:0 -:8]</b>						
再掲	適正体重の範囲にある人の増加	20歳代女性のやせの者の減少	16.2%	<b>9.4%</b>	↗	15%
		20～60歳代男性の肥満者の減少	30.7%	<b>28.5%</b>	↗	15%
		40～60歳代女性の肥満者の減少	14.9%	<b>19.1%</b>	↘	13%
34	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の増加の抑制		17.6%	集計中	—	22%
35	朝食を毎日食べる人の増加	中学・高校生	89.2%	<b>81.7%</b>	↘	100%
		男性(20歳代)	53.4%	<b>50.6%</b>	↘	85%
		男性(30歳代)	62.0%	<b>60.2%</b>	↘	
36	栄養のバランスに気をつけている人の増加		95.9%	<b>91.0%</b>	↘	95%
37	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の増加		45.3%	<b>39.0%</b>	↘	55%
38	緑黄色野菜を毎日食べる人の増加		54.9%	<b>65.9%</b>	↗	75%
39	緑黄色野菜以外の野菜を毎日食べる人の増加		69.0%	<b>69.9%</b>	↗	80%
40	毎日カルシウムに富む食品を食べる人の増加	大豆食品	51.9%	<b>57.0%</b>	↗	70%
		牛乳・乳製品	60.6%	<b>63.1%</b>	↗	75%
		小魚類	12.4%	<b>10.9%</b>	↘	30%
41	毎日果物を食べる人の増加		39.9%	<b>42.8%</b>	↗	70%
42	成人1日当たりの脂肪エネルギー平均摂取比率の減少		27.1% ※3	(R4年度 調査予定)	—	25%
43	成人1日当たりの食塩の平均摂取量の減少		10.7g ※3		—	9g
44	成人1日当たりの野菜の平均摂取量の増加		316.5g ※3		—	350g

No	項目	中間値 (H28)	速報値 (R3)	改善 状況	市目標値 (R4)	
45	成人1日当たりのカルシウムに富む食品の平均摂取量の増加	牛乳・乳製品	121.3g ※3	(R4年度 調査予定)	—	130g
		豆類	64.1g ※3		—	100g
		緑黄色野菜	116.7g ※3		—	120g
46	成人1日当たりのカリウムの平均摂取量の増加	2.4g ※3		—	3.5g	
47	外食や食品を購入する時、栄養成分表示を参考にする人の割合	食品購入時	26.9%	<b>29.4%</b>	↗	75%
		外食時	19.6%	<b>18.9%</b>	↘	60%
48	外食栄養成分表示実施店の増加	56店舗	<b>83店舗</b>	↗	増加	
<b>◆重点分野4 歯と口の健康づくり [改善状況 ↗:14 ↘:4 →:2 -:0]</b>						
49	むし歯のない幼児の増加	3歳	81.6%	<b>89.2%</b>	↗	85%
		5歳	65.4%	<b>74.5%</b>	↗	75%
50	一人平均むし歯数の減少	12歳	0.9歯	<b>0.6歯</b>	↗	0.8歯
51	進行した歯周炎の減少	40歳	53.3%	<b>54.7%</b>	↘	36%
		50歳	61.9%	<b>59.6%</b>	↗	43%
52	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加	80歳(75～84歳)で20歯以上	64.1%	<b>69.3%</b>	↗	78%
		60歳で24歯以上	84.7%	<b>88.8%</b>	↗	87%
53	学齢期の歯肉の状態異常者の減少(12歳)		25.5%	<b>29.3%</b>	↘	10%
54	咀嚼良好な人の増加(60歳代)		69.1%	<b>71.7%</b>	↗	80%
55	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加(3歳)		50.5%	<b>69.3%</b>	↗	80%
56	間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少(1歳)		2.3%	<b>2.1%</b>	→	減少
57	フッ化物配合歯磨剤の使用の増加(小学3年生)		92.0%	<b>91.8%</b>	→	95%
58	個別的な歯口清掃指導を受ける人の増加(高校3年生)		14.9%	<b>24.5%</b>	↗	35%
59	歯間部清掃用器具の使用の増加	40歳	24.7%	<b>27.5%</b>	↗	50%
		50歳	32.6%	<b>34.6%</b>	↗	
60	かかりつけ歯科医院で定期健診や歯石除去を受ける人の増加(50歳)		40.0%	<b>42.1%</b>	↗	55%
61	むし歯を病気と認識している人の増加(中学1年生)		49.2%	<b>57.9%</b>	↗	100%
62	フッ化物洗口を行っている保育・教育施設の増加		62.8%	<b>59.7%</b>	↘	70%
63	CO・GOのある児童・生徒へ保健指導、健康教育を実施する学校の増加	小学校	36.3%	<b>22.9%</b>	↘	100%
		中学校	24.6%	<b>34.9%</b>	↗	

No	項目	中間値 (H28)	速報値 (R3)	改善 状況	市目標値 (R4)	
◆重点分野5 たばこ対策 [改善状況 ↗:9 ↘:9 →:1 -:2]						
64	肺がんによる死亡の減少 (人口10万人当たり)	男性	39.9人	集計中	—	減少
		女性	11.1人	集計中	—	
65	たばこを吸わない人の増加	男性	69.9%	<b>75.0%</b>	↗	85%
		女性	85.0%	<b>92.3%</b>	↗	95%
66	未成年の喫煙をなくす	中学3年生男子	0.5%	<b>0.0%</b>	↗	0%
		中学3年生女子	0.4%	<b>0.0%</b>	↗	
		高校3年生男子	1.1%	<b>0.0%</b>	↗	
		高校3年生女子	0.0%	<b>0.0%</b>	→	
67	妊産婦の喫煙をなくす	1.7%	<b>1.1%</b>	↗	0%	
68	喫煙の健康影響についての十分 な知識を持っている人の増加	肺がん	89.3%	<b>86.1%</b>	↘	100%
		慢性閉塞性肺疾患(COPD)	50.3%	<b>44.1%</b>	↘	
		ぜんそく	66.9%	<b>56.4%</b>	↘	
		気管支炎	72.7%	<b>62.3%</b>	↘	
		心臓病	49.7%	<b>43.2%</b>	↘	
		脳卒中	48.3%	<b>37.0%</b>	↘	
		胃潰瘍	23.2%	<b>20.5%</b>	↘	
		妊娠への影響	66.3%	<b>51.5%</b>	↘	
69	受動喫煙防止対策をとる公共の 場や職場の増加	受動喫煙防止対策を実施して いる職場	83.4%	<b>94.4%</b>	↗	100%
		受動喫煙防止対策を実施して いる公共的施設・区域	63.7%	<b>94.7%</b>	↗	
70	禁煙実施店の増加	423店舗	<b>744店舗</b>	↗	増加	
◆重点分野6 感染症予防 [改善状況 ↗:3 ↘:1 →:0 -:0]						
71	インフルエンザの予防接種を受ける人(65歳以上)の増加	52.9%	<b>58.0%</b>	↗	増加	
72	MR(麻しん・風しん)の予防接種 を受ける幼児の増加	1期	98.6%	<b>99.6%</b>	↗	100%
		2期	92.2%	<b>94.1%</b>	↗	
73	HIV検査及び性感染症検査の受検者数の増加	2,623件	<b>1,519件</b>	↘	増加	

※1 宮城県国保連による全疾病分析事業で把握していたが、現在把握していない項目

※2 事業所・公共の場における健康意識調査で把握していたが、中間値の把握方法と異なるため、参考値として計上

※3 県民健康・栄養調査より把握した、宮城県の値を参考値として計上

## II 新型コロナウイルス感染症の影響について

※仙台市民の健康意識等に関する調査結果より  
調査期間：令和3年9月3日～9月30日

### 1 新型コロナウイルス感染症感染拡大前とこの1か月間の生活の変化

(n=2,752)

	項目	増えた	変わらない	減った	もともとない	無回答
1	1日当たりの食事の量	5.5%	85.1%	6.6%	—	2.8%
2	1日当たりの間食の量	13.3%	69.5%	7.7%	6.9%	2.6%
3	1日当たりの飲酒の量	5.0%	43.6%	8.7%	37.2%	5.5%
4	飲酒の頻度	4.9%	39.8%	12.9%	36.9%	5.5%
5	1週間の運動日数	6.1%	49.2%	30.9%	10.3%	3.4%
6	運動を行う日の平均運動時間	5.5%	48.4%	29.5%	12.4%	4.1%
7	1日当たりの睡眠時間	7.2%	78.3%	9.9%	—	4.6%
8	喫煙の頻度	2.4%	15.7%	1.5%	73.1%	7.3%
9	テレビやパソコン等のメディアの利用時間	42.9%	44.5%	2.1%	6.6%	3.8%
10	体重	25.7%	58.4%	11.7%	—	4.1%
11	ストレス	44.4%	43.5%	2.5%	6.5%	3.2%

※ 各項目の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

### 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、医療機関受診や健診を受ける機会の影響

(n=2,752)

	項目	影響はなかった	中断している	中断したが再開した	普段から受診していない	無回答
1	病気の治療	60.4%	2.4%	2.8%	31.4%	3.0%
2	健康診断(がん検診含む)	66.5%	5.6%	3.4%	19.3%	5.3%
3	歯科治療	52.3%	8.3%	4.2%	30.7%	4.6%
4	歯科定期健診(歯石除去含む)	50.5%	10.5%	4.9%	29.1%	5.0%

※ 各項目の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。